



## 3月は「水と衛星月間」です

★来客紹介：ありません

★会長報告：西原会長

1. コロナ感染者数も微減ながら着々と減少し、桜の開花も間近となり、日本国内では少しは心穏やかに過ごせる日を待ち望むばかりです。  
しかしながら、東北宮城での地震やそれによる電力不足、ロシアへの経済制裁による食料品や原油などの高騰など、国内も日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかりそうです。
2. 我がクラブは3月31日木曜日に例会を再開し、今期後半の奉仕と友好を進めて参ります。以前からお伝えしています、子ども食堂への支援をし、屋外でオムライス作りの実演を行なう三姉妹共同事業を後半の柱とし、国際奉仕に加えこれに社会奉仕、職業奉仕を一斉に行ない、RAC参加に伴う青少年奉仕にも関わって頂きます。  
さらに、この活動には千田元会長のつながりにより産経新聞社からの取材依頼も頂戴しており、我がクラブの広報活動にも大きな役割を果たすものだと思います。
3. この奉仕活動は、もちろん意義あるものですが、これには大阪難波ロータリークラブを作り上げてこられた先輩方の礎なしではなし得ない事です。よって、今期45周年を迎えるこの時期に、入会以来20年以上連続出席されている会員様の功績を讃え、4月第一週目の例会時に表彰状の授与を考えております。

45年皆出席 谷口 勉会員、  
41年皆出席 北橋茂登志会員、  
30年皆出席 北田好文会員、  
21年皆出席 荻原 奨会員です。

私どもの誇れる先輩方の背中を追いかけつつ、今期出来る奉仕を目一杯皆様と共に作りあげていきたい、ご協力の程、御願い致します。

★幹事報告：中川静夫幹事

1. 3月31日例会を再開させていただきます。
2. 3月31日例会終了後、臨時総会を開催させていただきますので、少しお残り下さい。

★委員会報告

◇職業奉仕委員会：米澤委員長

4月17日(日)開催を予定されております、三姉妹共同国際奉仕事業でのオムライス食堂に、北橋元会長、三島社会奉仕委員長、松田国際奉仕委員長にご配慮いただきまして、職業奉仕委員会も活動に加えていただけた事になりました。  
北橋元会長、三島委員長、松田委員長ありがとうございます。  
今回のオムライス食堂ですが、楽しい料理体験、こども達の笑顔、明るい希望、社会へつながる素晴らしい奉仕活動になろうかと思っております。  
ロータリー百科事典を参照しますと、職業奉仕とは、職業を通して、社会のニーズを満たせるよう努力を積み重ねる。それにより自己の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在を目指すとあります。  
職業奉仕の考え方も念頭におきまして、今回の活動のお役に立てるよう、また活動が大成功するよう、力を尽くしたいと思っております。

★ニコニコ箱報告：ありません

★卓話：ありません



## IM第4組ロータリーデー(ロータリー奉仕デー)報告

IMロータリーデー 実行委員長 **大橋 秀典**  
(東大阪RC)

テーマ：世界にふれよう!! 私たちが出来る子どもたちのエンパワメント  
開催日時：2022年2月19日(土)  
配信場所：国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所  
登録者数：631名  
配信時再生回数：477回

今年度のシェカール・メータRI会長より「ロータリー奉仕デー」を計画・開催するように依頼がある事を鑑みて、今年度のIM4組ロータリーデーは、ロータリー奉仕デーとして実施するように企画致しました。メータ会長は、女子のエンパワメントに優先的に取り組むようにとされており、また本年度の吉川ガバナーも「子どもへの支援」を呼びかけられています。そこで、今回のテーマは「世界に触れよう、私たちが出来る子供たちのエンパワメント」にいたしました。

エンパワメントという言葉の定義は広く、解釈も難しいと思いますが、今回は「人々に夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っている素晴らしい、生きる力を湧き出させること」と位置付けています。

第一部は「Withコロナの国際交流1週間の記録」と題し、ビデオを中心に構成しました。東大阪市立日新高等学校の1年生、2年生の学生と、タイ、カンボジアの若者たちが昨年秋に行った、約一週間のバーチャル国際交流の様子をご紹介します。最初のうちは、言葉の不安や慣れない画面越しの交流でぎこちなかった子どもたちが、回を追うごとに段々と打ち解けていき、最後は旧知の友達のように親しみを感じ合い、コロナが終わったら是非ともお互いの国を訪問して、交流を続けたいと言うまでになりました。たとえ限られた時間(1週間)、限られた環境(バーチャル)であっても、異なる文化や生活に触れたり、友達になつたりできるという「成長する機会(エンパワメント)」を十分に与えられる事をご覧いただけたと思います。

第二部は「国際交流を通じた子どもたちのエンパワメント」というテーマでパネルディスカッションを行いました。青少年交換のプログラムの可能性について、元地区委員会委員長、元交換学生(来日学生、派遣学生)、ホストファミリー経験者がそれぞれの経験を語り、交換プログラムを通して得た「エンパワメント」についてディスカッションしました。ロータリーの青少年交換は、家族単位で学生を歓迎し、温かく成長を見守るプログラムであり、異国に家族を得ることで、特に平和について良い学びが出来るかと改めて感じました。

今回のロータリー奉仕デーを通し、「ロータリーの青少年奉仕」とは、青少年に海外文化交流の機会や、リーダーとして成長する機会を提供するものであると周知するだけでなく、ロータリークラブの活動は、コロナ禍であっても可能性にチャレンジしていることを広く知って頂ける機会になればと思います。

我がクラブ初の配信イベントでしたが、当日はトラブルも無くほっとしました。開催にご協力頂きました、IM第4組の皆様、日新高等学校の皆様、ご指導頂きました大谷ガバナー補佐に心よりお礼を申し上げます。

※事後配信を行っています。お見逃しの方は是非ご視聴ください。

2021-22 RI第2660地区 IM4組ロータリーデー/ロータリー奉仕デー  
「世界にふれよう!!」～私たちが出来る子どもたちのエンパワメント～  
<https://www.youtube.com/watch?v=c4zay01PbQ0>

